

# 愛 P が行く!!!

## 知立市の魅力発見旅 No.17

今回は、知立市図書館に併設する、知立市歴史民俗資料館取材しました。

### 知立市歴史民俗資料館

知立市の歴史や民俗についての資料を収集、調査・研究し、収蔵品や研究成果を常設展や企画展・特別展等で公開したり、歴史や文化にかかわるイベントを開催したりして、知立市内外の皆さんに学びの場を提供しています。

### 🎙️ 歴史民俗資料館の職員に聞きました！ 職員：中川・木全

#### Q 知立市歴史民俗資料館の歴史を教えてください。

A. 前身は知立市郷土資料館という施設です。現在の知立中学校の近くにあり、知立市の民俗についての資料が収集されていました。その後資料が増加したことや建物の老朽化などが理由で新設することとなり、知立市図書館に併設する形で現在の知立市歴史民俗資料館が開館しました。

#### Q 図書館に併設されていて、良かったと思うことはありますか？

A. 図書館を利用する人にも、足を運んでもらうことができることです。また、展示されているものを見て興味をもった人が図書館で詳しく調べられるという点も、良いところだと思います。

#### Q 今までに開催された企画展・特別展や講座にはどのようなものがありましたか？

A. 昨年度は「よみがえる地下の知立展」をはじめ3回の企画展を行いました。なかでも毎年恒例となっている「おひなさま展」は、県内のおひなさまの展示会を巡るスタンプラリーと連動して開催しており、ご好評いただいています。また、年2回開催している土器づくり講座では、土器を作っただけくほかに、土器を焼いている間に火起こし体験や弓矢体験を楽しんでいただけます。企画展・特別展のほか、講座も無料で開催しているものが多くありますので、ぜひ多くの皆さんにご参加いただきたいと思います。

#### Q 市民の皆さんとはどのように関わることがありますか？

A. ご連絡をいただいた市内のお家や蔵で所蔵している歴史的な物などについて、調査に行くことがあります。また、小学校の授業では、昔のくらしや道具などを学ぶために知立市歴史民俗資料館を利用することがあります。子どもから大人まで、多くの皆さんと関わりながら運営しています。



### 編集後記

知立市歴史民俗資料館と聞いて、知立市の歴史や民俗に関する資料を展示している施設だと思っていましたが、展示だけではなく、資料の収集や研究も行われていると知り、驚きました。また今回の取材を通じて、市の貴重な資料の保管をしていることや、常設展や企画展などでの資料の無料公開によって、より多くの人に学びの場や機会を提供したいという思いを知り、知立市歴史民俗資料館のような施設の必要性を感じました。収蔵品が増え続けているとおっしゃっていたので、さらなる発展に期待が膨らみました。



#### 愛Pとは？

愛知大学の学生サークルです。主な活動として、オープンキャンパスで愛知大学生の生活を紹介する独自の運営や来てくださった人にご案内を行っています。活動を通じて、愛知大学の魅力を学生目線で発信している広報サークルです。このコーナーでは、学生らしい視点でイベントや地域の人たちを取材し、知立市の魅力を新発見、再発見したものを伝えていただきます。

